



私たちの先生は海!

~マリンキッズ海洋自然学校~

夏になると、どこの海岸でも見られた子どもたちの姿。最近では見かけることが少なくなってきた。

深浦で暮らしているながら、海に触れる機会が少ない子どもたち。

目の前に広がる深浦の海で、目の前を泳ぐ魚や岩の間の貝に手をのぼし、海の中で生きているたくさんの生きものに触れて自然の素晴らしさを体感してほしい。

言葉では伝えられないものを自然から学ぶ。海洋自然学校は、今年も子どもたちを一回り大きくした。



深浦マリンキッズのメインイベント「海洋自然学校」が、7月22日から1泊2日の日程で行われ、子どもたちは自然から多くのことを学びました。

海に面した深浦に住んでいながら、最近泳げない子どもたちが多くなっている現状。海洋自然学校は、子どもたちに水を怖がることなく海に親しんでもらい、自然の素晴らしさを通して、海に関する知識を深めることを目的に開催しています。

初日は肌寒い雨が降り続く中、子どもたちは5班に分かれて岡崎海岸でスノーケリング練習。講師からスノーケルやフィンの使い方を学び、海の中で何回も練習を重ねました。始めは恐る恐る海に入っていた子ども



たちも、徐々に慣れてきて少し沖までいけるようになった様子。明日のスノーケリング活動の準備は万全です。

次の日も雨が降り続きましたが、子どもたちは元気がいっぱい。講師とともに自分の身長以上の深さのある沖合まで泳いでいき、たくさん練習したスノーケリングで海中散策。すぐそばを泳ぐ魚たちや多くの海の生きものに触れ、自然の素晴らしさを体感しました。

仲間と過ごした1泊2日の海洋自然学校を通して、日常生活ではなかなかできない体験をした子どもたち。海の中を見て、触って、考えることで、一回り大きく成長しました。

町長とのグループミーティング



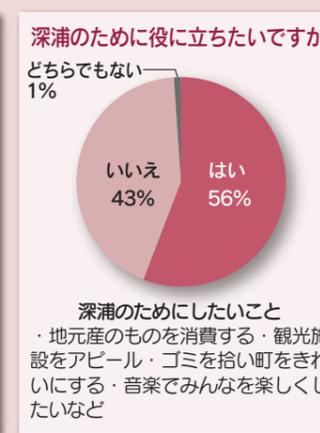
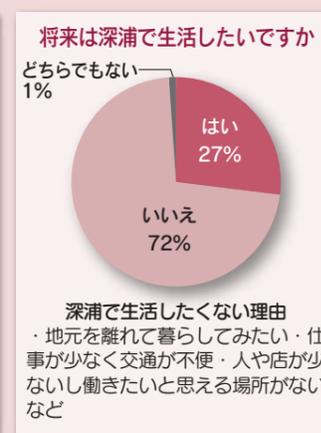
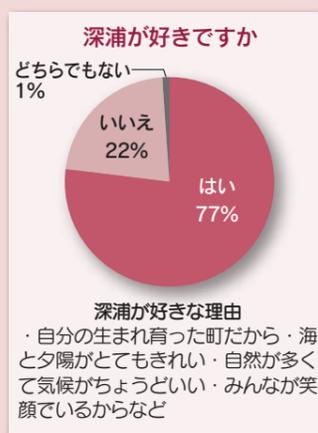
~ふるさとを知り ふるさとを慈しむ~

今年度最初のグループミーティングが7月17日、木造高等学校深浦校舎で行われ、71名の生徒が町の地域づくりを学び、ふるさと深浦を見つめ直ししました。

始めに、吉田町長が町で取り組んできた地域づくりについて紹介。歴史や予算の状況、農林水産業の振興や6次産業化、世界自然遺産白神山地や食を活かした観光など町の施策を説明し、「ふるさとが元気であり続けるためには、ふるさとのこと、を理解し、愛おしく感じる思いを多くの方々が共有すること。その力を結集させ、行動につなげていくことが必要」と生徒たちに語りました。

引き続き行われたフリートークキングでは、生徒たちから雇用創出や子育て支援の内容など講演内容を受けての質問や、深浦校舎の存続や町長になって一番大変だったことなど身近に感じている疑問が寄せられ、ふるさと深浦へのそれぞれの思いがうかがえました。

生徒たちは、町の歴史や産業振興などの取り組みについて、まだまだ知らないことが多かった様子。グループミーティングが町と向き合ういい機会になり、今日の講演内容をもとに、自分たちが町にできることは何か、真剣に考え始めています。



グループミーティングに先立ち、深浦校舎では深浦に関するアンケートを実施しました。

深浦について寄せられた生徒たちの声を抜粋して紹介します。

町づくりグループミーティングを開催しませんか?

町づくりグループミーティングでの意見交換は、今後の町づくりに活かされます。仲間同士が参加して、町長と一緒に町づくりについて意見交換しませんか? 話題は何でも結構です。深浦をもっと暮らしやすい町にするために、あなたの意見をお聞かせください。

【申込・問合せ先】

企画財政課 町づくり戦略室 TEL 74-2122 (内264)